



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場会社名 パナソニック電工SUNX株式会社  
 コード番号 6860 URL <http://panasonic-denko.co.jp/sunx>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒谷 悦司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理担当 (氏名) 齊藤 隆夫

TEL 0568-33-7211

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日

平成23年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	21,330	94.2	2,024	79.8	1,931	84.4	1,098	127.4
23年3月期第2四半期	10,982	102.8	1,126	—	1,047	—	483	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 987百万円 (127.3%) 23年3月期第2四半期 434百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	19.52	—
23年3月期第2四半期	13.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	34,529	26,121	75.2	461.62
23年3月期	33,096	25,404	76.2	448.40

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 25,978百万円 23年3月期 25,235百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	38.3	3,500	50.5	3,560	56.6	2,110	73.5	37.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	56,457,898 株	23年3月期	56,457,898 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	181,661 株	23年3月期	180,205 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	56,277,379 株	23年3月期2Q	35,001,894 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要や大きく落ち込んだ自動車生産など回復の期待感はあるものの、電力不足に伴う生産制約、世界金融市場の混乱による海外経済の下振れ、円高進行などの日本経済を取り巻くリスクの増大もあり、先行きの需要動向には不透明感の強い状況で推移致しました。

このような状況下、当社グループにおきましても前半は、震災影響が想定よりも下回ったことと売上高において中国を初めとする海外への販売が寄与致しました。

以上の結果、事業継承分を含めた当社グループ全体の売上高は、21,330百万円（前年同四半期比94.2%増）、利益におきましては、想定した以上に進展した円高による為替差損の発生及び材料の高騰による原価率の悪化がありましたが、積極的な増販策及びコスト削減効果が寄与したことにより、営業利益2,024百万円（同79.8%増）、経常利益1,931百万円（同84.4%増）、四半期純利益1,098百万円（同127.4%増）となりました。

### セグメント別の状況

#### ・センシングコントロール事業（FA用センサ、PLC、プログラマブル表示器など）

センシングコントロール事業においては、国内は主力の半導体・液晶関連向けにおいてスマートフォン関連用途に拡大しましたが、期後半は市況の落ち込みによる設備投資抑制を受けて減速致しました。一方、自動車関連向けは、震災による落ち込みから持ち直し、回復基調が続きました。また、海外は、特に中国においては工場設備自動化及び社会インフラ設備需要が高まり、販売が好調に推移致しました。その結果、売上高は12,232百万円となりました。

#### ・プロセッシング機器事業（レーザーマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置など）

プロセッシング機器事業においては、金属・自動車業界向けFA Y b レーザーマーカ「LP-Sシリーズ」の販売プロモーションの浸透により、3D制御FA Y b レーザーマーカ「LP-Zシリーズ」、「LP-Sシリーズ」が販売拡大致しました。海外も電機・電子業界等の設備需要拡大を受け、中国・アジア地域を中心に販売を伸ばしました。その結果、売上高は4,546百万円となりました。

#### ・E c o ・カスタム事業（エコ関連商品、タイマ、カウンタ、カスタム商品など）

E c o ・カスタム事業においては、震災以降の電力不足を受け、節電対策における電力の見える化需要が増加し、新商品投入を含め「エコパワーメータ」などE c o ・カスタム商品の販売が好調に推移致しました。その結果、売上高は4,551百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は34,529百万円となり前連結会計年度末に比べ1,432百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ1,535百万円増加し、23,035百万円となりました。主な内容は受取手形及び売掛金が811百万円、たな卸資産が282百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ102百万円減少し、11,493百万円となりました。主な内容是有形固定資産が550百万円増加した一方、関係会社株式を売却したこと等により投資その他の資産が579百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べ732百万円増加し、5,895百万円となりました。主な内容は買掛金が614百万円、未払費用が169百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ16百万円減少し、2,512百万円となりました。主な内容は長期未払金が13百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ717百万円増加し、26,121百万円となりました。主な内容は四半期純利益1,098百万円による増加と、配当金の支払225百万円の減少等によります。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより5,687百万円となり、前連結会計年度末に比べ213百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,021百万円、減価償却費659百万円を計上する一方、売上債権の増加による資金の減少837百万円、たな卸資産の増加による資金の減少313百万円、法人税等の支払による資金の減少542百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは878百万円となり前年同四半期に比べ433百万円収入が増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,220百万円を計上する一方、関係会社株式の売却による収入765百万円等により287百万円の支出となり、前年同四半期に比べ124百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額225百万円等により222百万円の支出となり、前年同四半期に比べ170百万円支出が増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、東日本大震災の影響や、世界金融市場の混乱による海外経済の下振れ、円高進行などの日本経済を取り巻くリスクの増大もあり、下期も引き続き需要動向は不透明感の強い状況にあります。

当制御機器業界におきましても第2四半期より、需要動向にかげりが見え始め、下期も為替や市況動向等不透明な要素が多い状況にあります。

このような状況下、通期の業績予想は、平成23年4月26日発表の予想数値を据え置いております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,263	2,164
受取手形及び売掛金	6,509	7,320
商品及び製品	1,091	1,267
仕掛品	656	500
原材料及び貯蔵品	2,377	2,640
預け金	8,310	7,422
その他	1,299	1,720
貸倒引当金	△9	△1
流動資産合計	21,500	23,035
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,768	3,768
その他(純額)	5,502	6,052
有形固定資産合計	9,270	9,821
無形固定資産	542	469
投資その他の資産		
その他	1,794	1,211
貸倒引当金	△10	△7
投資その他の資産合計	1,783	1,203
固定資産合計	11,596	11,493
資産合計	33,096	34,529
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,391	3,005
短期借入金	49	91
未払金	1,062	857
未払費用	337	506
未払法人税等	342	406
賞与引当金	771	860
役員賞与引当金	65	11
その他	143	156
流動負債合計	5,163	5,895
固定負債		
退職給付引当金	2,420	2,416
その他	108	95
固定負債合計	2,528	2,512
負債合計	7,692	8,407

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,155	3,155
資本剰余金	10,534	10,534
利益剰余金	11,735	12,608
自己株式	△62	△63
株主資本合計	25,362	26,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	38
為替換算調整勘定	△160	△295
その他の包括利益累計額合計	△127	△256
少数株主持分	169	143
純資産合計	25,404	26,121
負債純資産合計	33,096	34,529

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,982	21,330
売上原価	6,631	15,488
売上総利益	4,351	5,841
販売費及び一般管理費	3,225	3,817
営業利益	1,126	2,024
営業外収益		
受取利息	18	23
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	5	5
受取地代家賃	25	25
その他	6	7
営業外収益合計	57	63
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	129	146
不動産賃貸費用	4	4
その他	2	5
営業外費用合計	136	156
経常利益	1,047	1,931
特別利益		
固定資産売却益	0	4
関係会社株式売却益	—	197
特別利益合計	0	202
特別損失		
固定資産除却損	19	15
事業構造改善費用	145	—
社名・ブランド変更費用	43	97
特別損失合計	208	112
税金等調整前四半期純利益	839	2,021
法人税、住民税及び事業税	85	610
法人税等調整額	262	288
法人税等合計	348	898
少数株主損益調整前四半期純利益	491	1,122
少数株主利益	8	23
四半期純利益	483	1,098
少数株主利益	8	23
少数株主損益調整前四半期純利益	491	1,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	4
為替換算調整勘定	△53	△139
その他の包括利益合計	△57	△134
四半期包括利益	434	987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	431	968
少数株主に係る四半期包括利益	3	18



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	839	2,021
減価償却費	390	659
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△181	△3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	248	92
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	15	△54
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△9
受取利息及び受取配当金	△19	△24
為替差損益 (△は益)	2	80
支払利息	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	△5	△5
有形固定資産除売却損益 (△は益)	18	10
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△197
売上債権の増減額 (△は増加)	△614	△837
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△576	△313
仕入債務の増減額 (△は減少)	113	630
未払金の増減額 (△は減少)	509	△166
その他	△235	△476
小計	499	1,404
利息及び配当金の受取額	9	16
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△62	△542
営業活動によるキャッシュ・フロー	445	878
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の払戻による収入	—	200
有形固定資産の取得による支出	△125	△1,220
有形固定資産の売却による収入	1	64
無形固定資産の取得による支出	△39	△90
関係会社株式の売却による収入	—	765
その他	—	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163	△287
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	52	47
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△105	△225
少数株主への配当金の支払額	—	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52	△222
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	△154
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	208	213
現金及び現金同等物の期首残高	3,123	5,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,332	5,687

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	センシング	LMP	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,119	2,863	10,982
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,119	2,863	10,982
セグメント利益	1,567	205	1,773

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,773
全社費用(注1)	△763
調整額(注2)	116
四半期連結損益計算書の営業利益	1,126

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o ・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	12,232	4,546	4,551	21,330
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	12,232	4,546	4,551	21,330
セグメント利益	2,241	243	315	2,800

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,800
全社費用（注1）	△857
調整額（注2）	81
四半期連結損益計算書の営業利益	2,024

（注1）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（注2）調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間まで、「センシング事業」、「LMP事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、今後の事業拡大と成長の加速のため、平成22年10月1日にパナソニック電工株式会社のFA機器事業を承継し、同日付けで組織変更を行ったことに伴い、セグメンテーションの見直しを行い、「センシングコントロール事業」、「プロセッシング機器事業」、「E c o ・カスタム事業」の3事業に変更しております。なお、従来の「センシング事業」及び「LMP事業」はそれぞれ「センシングコントロール事業」及び「プロセッシング機器事業」に含まれております。

また、変更後の報告セグメント及び事業セグメントの利益の算定方法に基づいて算定した前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」並びに「報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）」については、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。